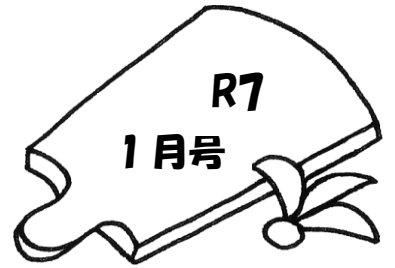


ひばり組だより



明けましておめでとうございます！子ども達の元気な声とともに、新しい年が始まりました。寒さが続いています。子どもたちは「だるまさんが転んだ」や「鬼ごっこ」をしながら元気いっぱい過ごしています。

友達との関わりが増えて来た分トラブルもありますが、相手が泣いたから、怒ったから、ごめんなさいという“流れ”にするのではなく、お互いがどんな気持ちでいたか、その時に言葉で伝えられるように練習しています。同年齢、異年齢の子と関わりながら色々な気持ちを知り、思いやりの気持ちを育ていけるよう、今後も援助していきたいと思います。そして、ひばり組での生活も残りわずかとなってきました。遊ぶ時は思いきり楽しむ、自分でやるべきことを考える、困った時は言葉にする、等のメリハリを持って素敵なつばめ組になれるよう進級を意識して生活していきたいと思います。

今月の目標

- ・生活に見通しをもち、自ら行動する。
- ・集団遊びを通してルールを覚えたり、友達とのやりとりをしながら遊ぶことを楽しむ。



◎お願い

排便後の処理が難しく、トイレに入ったまま困ってしまう子が多いので、お家と保育園の両方で練習をしていきましょう！ペーパーの切り方や、拭き方等はお子様自身がやってみる事で身に付くので、ご協力をお願いいたします！

～発表会～

発表会へのご協力ありがとうございました。当日の子ども達の表情からは緊張が伝わってききましたが、よく頑張っていました！今回の劇の題材は、いくつかの作品から子ども達と選びました。また、配役やどんな場面に出たいか、についても自分たちで決めてもらいました。

大人にも得意不得意があるように、人前に立つということは、自信がある子ばかりではないと思います。そんな中で自己表現の方法は言葉だけでなく、運動や踊り等、色々な中から楽しさに繋がるものを見つけられると良いのではないかと、という思いがありました。

行事に限らずですが、日頃様々な子ども達と関わっていると、その子がどの部分を受け止めて欲しいと感じているか、考える事が必要だと感じます。上手く出来ているか、だけを求める関わりではなく、この時期は得意なことを見つけたり、日常の「見て！」を大いに受け止めてもらうことで自信が付きます。そして、自己肯定が出来る心を育ていけるのだと思います。信頼できる大人からの関わりで満たされることで、それは情緒の安定や他児への関わり方にも影響が出ていると思います。

保育園での様々な経験や、ご家庭での時間、そして大人との関わりを通して、子ども達の心の育ちを一緒に支えていけると良いですね。

